

# 奈良県におけるリユースびんを用いた 大和茶飲料普及促進事業

World Seed / 大和びんリユース推進協議会設立準備会事務局長  
中島 光

# 背景

- 平成24年度よりリユースびん入り大和茶『と、わ(TO WA)』の開発と普及を実施
- 奈良市・生駒市が会議等において導入している他、奈良県内を中心とするホテル・旅館及び飲食店約55店舗で普及を実施



- 奈良県内におけるびんリユースシステム拡大スピードが上がらない

# 実施内容

## < 実証事業内容 >

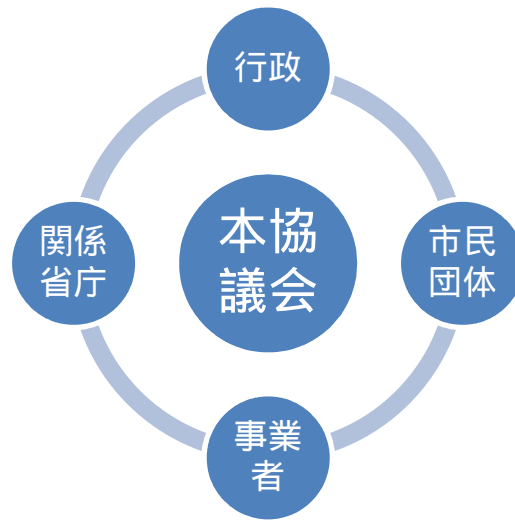
奈良県内におけるびんリユース推進体制の構築  
インターネットを活用した広報媒体の構築

## < 情報発信 >

びんリユース推進シンポジウム(3月20日奈良市)での情報発信  
PRイベントへの協力

# 大和びんリユース推進協議会の設立へ

- びんリユースを推進するためには、多様な団体との協力が必要  
多様な団体を巻き込み、理解を深めていくことも必要



- 地域循環圏を軸とした地域に根差したびんリユースを推進していくためにも推進体制を構築する必要がある。

# 実施内容

- 協議会設立準備会の開催  
平成25年10月より計4回開催  
本協議会における当該地域でのびん  
リユースの在り方を検討し、取組内容・  
運営体制を構築



# 本協議会の目的と取組内容

- 目的

「本協議会は、奈良県内において、びんリユースの推進が容器包装廃棄物の排出抑制、温室効果ガス排出量の低減、地域経済の振興等に貢献できる可能性を広く内外に発信するとともに、自らもびんリユースを推進する取り組みを実施し、もって我が国の循環型社会形成に寄与するものである」

- 取組内容

当該地域において既に実施されているびんリユースの取り組みを基に、その「経験知」と「知識知」の蓄積を行い、さらなるびんリユースシステムの構築と拡大を図る。

びんリユースにおける、容器包装廃棄物の排出抑制と温室効果ガス排出量の低減、循環型社会形成への寄与の情報発信や広報。

びんリユースにおける地域経済への貢献調査と検討。

びんリユース促進における環境教育手法の検討。

その他座長が必要と判断する取り組み。

# 本協議会の構成員

- 座長: 西田 正憲 氏 (奈良県立大学 地域創造学部 学部長)
- 事務局長: 中島 光 (World Seed 副代表理事)
- 幹事団体: 奈良市・生駒市・NPO法人奈良ストップ温暖化の会・奈良県地球温暖化防止活動推進センター
- 構成員: 一般社団法人 奈良青年会議所・奈良市中心市街地活性化協議会・株式会社 桶谷・奈良市地球温暖化対策地域協議会・びんリユース推進全国協議会

事業者(特に充填事業者)の参画に向けて今後も協議していく。

# インターネット活用した広報媒体の構築

- 平成24年度のリユースびん入り大和茶『と、わ(TO WA)』の開発から本事業を発信する媒体をフェイスブックに限られており、具体的なびんリユースの取り組み発信が難しい状況であったことから、ホームページの構築を行った。
- リユースびん入り大和茶『と、わ(TO WA)』の取り組みをよりわかりやすく、そしてびんリユースに空きびんを「返す」という行為を以て参加でき、地球環境に貢献できるものであることを理解してもらう



# リユースびん入り大和茶「と、わ (To WA)」と あなたとのつながりを、これから



リユースびん入り大和茶「と、わ (To WA)」は、  
「環境」と「地域」がとけあう今までにない新しい商品です。

今や世界レベルで、私たちが住んでいるこの地球は  
大きな環境変化を受けています。

私たちの「豊かさ」「便利さ」への追求は、  
結果としてこの地球という私たちの家に対して  
大きなダメージを与え続けています。

私たちは、先人たちもそうであったように、  
将来を担う世代に環境豊かな社会生活という「バトン」を渡し、  
生き生きと生活できるチャンスを与えなければいけません。

「と、わ(To WA)」は、この地球を守り、  
未来の生活を守る小さなアクションを起こすために  
NPO団体World Seedから生まれました。


「と、わ(To WA)」は奈良県特産の大和茶という一等茶葉を、  
ごみを出さないリユースびんに密封してできています。

地域で採れたものを地域で消費し、  
ごみを出さず、今ある資源を未来へ引き継ぐ  
今までにない新しい商品。

「と、わ(To WA)」で起こす小さなアクションは、  
買って楽しむ「ひと」、  
「と、わ(To WA)」を造る「ひと」、  
「と、わ(To WA)」を運び、回収する「ひと」が繋がり、  
びんが「めぐる」ことで地域循環を促すシステムです。







あなたが「と、わ(ToWA)」をご購入し、  
大和茶を「味わい」、びんを「楽しみ」、そしてびんを「返す」ことで、  
この地域をめぐる小さな「環」にご参加していただけます。

びんを「使ったら返す」、  
ほんの小さなアクションが広がれば、地域が繋がり、  
日本を絆ぐ大きな「輪」に成長させることができます。

おひとりおひとりが、  
この小さなアクションにご参加いただくことで、  
「と、わ(ToWA)」はひとを「繋ぎ」、地域を「めぐらせ」、  
やがては日本を絆ぐ「輪」を生み出していきます。



「と、わ(ToWA)」は、この「輪」が限りなく「永遠」につながるように…  
と願いをこめて、この名が名づけられました。

NPO団体World Seedと  
「と、わ(ToWA)」プロジェクトを計画している多くの団体は、  
まず「ひと」と「ひと」を「繋ぐ」ことから始めました。

「ひと」と「ひと」を今の時代に繋ぎ未来へもつなげる、  
環境も「私たちの幸せ」もめぐりめぐる社会の実現。

それが、私たちの想いです。



# ホームページデザイン



トップページ | 「と、わ(To WA)」とは? | 「と、わ(To WA)」プロジェクトについて | 「と、わ(To WA)」を支えるひとたち | 「と、わ(To WA)」を定める場所 | 協力企業 関係団体 | お問い合わせ

## 「と、わ(To WA)」とは?

- あなたと「と、わ(To WA)」の出会い方
- 「と、わ(To WA)」名前の由来
- 「と、わ(To WA)」と奈良
- 「と、わ(To WA)」のデザイン
- 商品詳細

## プロジェクトブログ

リユースびん入り大和茶「と、わ(To WA)」

「と、わ(To WA)」とは?

「と、わ(To WA)」プロジェクトについて

「と、わ(To WA)」を支えるひとたち

「と、わ(To WA)」を定める場所

協力企業 関係団体

お問い合わせ

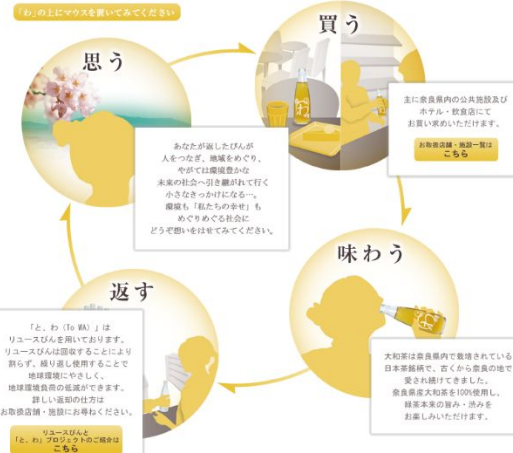
Twitter

NPO団体 World Seed

## あなたと「と、わ(To WA)」の出会い方

トップ> 「と、わ(To WA)」とは? > あなたと「と、わ(To WA)」の出会い方

「わ」の上にマウスを置いてみてください!



リユースびん入り大和茶「と、わ(To WA)」は、奈良県特産の大和茶を使用し、環境にやさしいリユースびんを用いた、地域と環境とけあう奈良からスタートする今までにない新しい商品です。多くの想いがひとつになり、今ここに生まれました。

トップページ | 「と、わ(To WA)」とは? | 「と、わ(To WA)」プロジェクトについて | 「と、わ(To WA)」を支えるひとたち | 「と、わ(To WA)」を定める場所 | 協力企業 関係団体 | お問い合わせ | サイトマップ | プライバシーポリシー



トップページ | 「と、わ(To WA)」とは? | 「と、わ(To WA)」プロジェクトについて | 「と、わ(To WA)」を支えるひとたち | 「と、わ(To WA)」を定める場所 | 協力企業 関係団体 | お問い合わせ

## 「と、わ(To WA)」とは?

- あなたと「と、わ(To WA)」の出会い方
- 「と、わ(To WA)」名前の由来
- 「と、わ(To WA)」と奈良
- 「と、わ(To WA)」のデザイン
- 商品詳細

## プロジェクトブログ

リユースびん入り大和茶「と、わ(To WA)」

「と、わ(To WA)」とは?

「と、わ(To WA)」プロジェクトについて

「と、わ(To WA)」を支えるひとたち

「と、わ(To WA)」を定める場所

協力企業 関係団体

お問い合わせ

Twitter

NPO団体 World Seed

## 「と、わ(To WA)」名前の由来

トップ> 「と、わ(To WA)」とは? > 「と、わ(To WA)」名前の由来

地域と環境の「和・環・輪」をつなぐという意味から「と、わ」と名づけました。英語表記では「To WA」、「わ」へ向かうという意味も込められています。リユースびん入り大和茶「と、わ(To WA)」とあなたとのつながりを、これから。

「わ」の上にマウスを置いてみてください!



あなたも、「と、わ(To WA)」の物語を作る大切なひとです。

トップページ | 「と、わ(To WA)」とは? | 「と、わ(To WA)」プロジェクトについて | 「と、わ(To WA)」を支えるひとたち | 「と、わ(To WA)」を定める場所 | 協力企業 関係団体 | お問い合わせ | サイトマップ | プライバシーポリシー

# 今後の展開

- 大和びんリユース推進協議会設立総会を4月15日(火)に開催
- 26年度より本協議会として取組を実施していく
- 4月20日(日)のアースデイ奈良2014への出展



情報発信 >

# びんリユース推進シンポジウムでの情報発信

- ・開催日：3月20日(木)13時30分～17時
- ・場所：ホテル日航奈良(4階 飛天の間)
- ・述べ参加者数：75名

本シンポジウムでは、共催として奈良市生駒市が、後援として奈良県が参画。



# びんリユース推進シンポジウムでの情報発信

## < 事例紹介とパネルディスカッション >

・奈良市並びに生駒市における「と、わ」の導入事例紹介(奈良市、生駒市より)

・パネルディスカッションでは、大和びんリユース推進協議会設立準備会メンバーがパネラーとして登壇し、奈良県におけるびんリユースの取組みの方向性についてディスカッションを行った。

・今後の地域循環圏を構築していく上で、びんリユースは地産地消で取り組むことができ、様々な手法で地域に還元できる可能性を有するものである認識がなされた。





情報発信 >

# PRイベントへの協力

## シンポジウム会場で実施された びんリユースPRイベントへの協力

< PRイベントの内容 >

- ・びんリユースにおける現状や取り組み内容がわかるPRパネル・リユースびんの展示
- ・実際のリユースびん入り商品導入(調達)に関する相談受付

- ・PRイベント来場者数: 約40名
- ・PRイベント相談数: 2件

< 相談内容 >

- ・公共施設会議等におけるリユースびん入り商品の導入方法について(自治体)
- ・奈良県内で開催予定の大規模会議でのリユースびん入り商品の採用方法について(事業者)



御清聴ありがとうございました。

World Seed / 大和びんリユース推進協議会設立準備会事務局長

中島 光